

菊陽人 りさーち



さかもと るな
坂本 瑠菜さん (10歳)
[井 口]

- 趣味 料理
- 将来の夢 薬剤師
- 自慢 少しでも英語が話せる
- みんなに伝えたいこと いつもありがとう。これからもヨロシク!



い で う え み な み
井手上 美波さん (10歳)
[辛 川]

- 趣味 絵をかくこと
- 将来の夢 マンガ家
- 自分を一言で表すと 絵をよくかく(友人談)
- みんなに伝えたいこと これからもよろしくね!

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.21】

国際化が進み日本と異なる文化、言語、習慣で生活している隣人がいます。しかし、その隣人を受入れていく準備が私たちにできていますかと作文は投げかけているようです。戦争で中国に取り残された残留孤児の井上さんは、帰国した母国で家族が引き裂かれようとしたために裁判で闘い家族との生活を守られたのです。*作者の学年は前年度の在籍学年となります。

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

私の家では今、父、母、姉、祖母、私の5人で暮らしています。父は海外出張にいついていて、今年の5月末にインドから帰ってきました。父はほかに中国などにも出張に行くことがあり、大変だと思えます。私も小学校6年生の時に一度だけインドに行ったことがあり、そのとき私は衝撃を受けました。インドでは貧困の差が激しく、道路の整備もされていなくて、車が割り込んできたり、車のスレスレのところに隣の車がいて、今にもぶつかりそうでした。ほかに子どもがボロボロの車を運転していたり、車に乗っていて信号などで止まっていると子どもが車のそばによってきて窓を叩いてきます。父が窓を開けると何か持ってきて、それを、「買ってください。」と言ったのです。私は最初それを見たとき、驚きのあまり、怖くなってしまいました。父はそれに慣れていくから、すぐに断りましたが、初めてインドに行く人などは、断ることができないと思います。日本は本当に豊かな国なんだと改めて思いました。平和すぎて平和を当たり前のことだと考えていると思



▲校内人権集会

「豊かそうって何だろう?」
菊陽中学校3年 原田 幸

ます。世界にはこういう国がまだあるのだと考えることができました。あと、私の心の中に差別心があることに気がつきました。車の中にいると、いろいろなことが見えてきます。路上で暮らしている人や、お金を集める子どもも・・・たくさん、そうしている人を見て私は「かわいそう」と思っていました。しかし、今回、先生が言っていたように、別にその子どもたちは自分のことを「かわいそう」とは思っていないかもしれないし、一生懸命生きるためにやっていることだから、誇りにおもっていることかもしれない。自分の心の中にある同情心や差別心に気づかれました。

井上るるるさんへ

菊陽南小学校6年 福本 貴子

今日は、おいそがしい中、私たちに話を聞かせていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

私が一番に残ったことは、やっぱり裁判のことでした。お孫さんはアルバイトもさせてもらえず、お父さんのことも、お兄さんのことも考えると夢も描けずいたので苦しかったと思います。でも、裁判に勝ってよかったなあと思うし、血がながってなくても、



▲真剣に聞く6年生

みんなが助け合っていて強いと思います。つるじさんがみんなを愛したように、みんなもつるじさんを愛して、まさに本当の家族そのものだなあと感じました。

それから、お母さんとの再会、本当にうれしそうに話されました。私は毎日お母さんと話していましたが、そんなに「しゃべれる」喜びを考えていなかったです。つるじさんのお話を聞き、改めて「しゃべれる」喜びを覚えてもらいました。

そのほかに、つるじさんは、鉛筆をしんまでつかったり、きゅうりの半分だけでもとってもおいしくてありがたいと話されて、自分を反省しました。私は鉛筆が小さくなったら捨てたり、きゅうりをもらってもそんなに喜ばなかったと思います。もっと物を大切にしなければと思いました。

離れたくないという気持ちは、家族だからこそ離れたくないと思うのだと分かりました。私も見習わなければならぬことがたくさんありました。私も家族が一番大切なんです。時々、そのことをきちんと考えていないときがあるので、心にとめておきたいです。そして、いつもにこにこしているつるじさんのようになりたいです。本当にありがとうございました。

菊陽句会報

きくよう文芸

蹲 <small>つた</small> の雲の流れや秋の水	坂本百合子	秋大豆実り豊に熟れそめし	佐藤 節
観音の慈悲のまなざし紅葉晴れ	田中 郁子	朝霧や日輪卑弥呼の鏡とも	井上久美子
噴煙の高みも鷹の飛翔 <small>とよよげん</small>	村田 正三	稽田 <small>ひつじだ</small> と変りし園場鳥遊 <small>ぼ</small> ぶ	宮川ユキエ
息しらく踏み出す一歩 <small>いっしょ</small> 潔し	井 子文	散る紅葉拾う秋声保育園	日高 妙子
片言のおうむがえしや小春の日	財津 早雪	競ふ児のガッツポーズや運動会	曾我 育代
二人して余生の居場所 <small>かんじよ</small> 甘藷 <small>かんじよ</small> 掘る	原野レイ子	運動会爆音落しへり十機	曾我トモ子
朋友 <small>とも</small> のそつと相づち落葉踏み	西村ひとえ	阿蘇深く神楽 <small>かぐら</small> 囃子 <small>ばやし</small> に昏 <small>くれ</small> ゆきぬ	紫藤 祥子
終焉 <small>しゅうえん</small> の時を華やぐ <small>つた</small> 紅葉	力 幸子	ミレーの絵の農夫に似たり大根 <small>だいこん</small> まき	村上 朋子
秋風やレリーフ哀 <small>あはれ</small> し遭難碑 <small>そうなんひ</small>	寺尾千代子	冬バラの彩 <small>いろ</small> なき庭に紅零 <small>こうじょう</small> し	野口 令史
そり返り見上げて倦 <small>あ</small> きぬ照紅葉	高橋 孝子	線香花火 <small>せんこうはなび</small> に一期一会 <small>いちごいちえ</small> の風来坊	松橋 強
秋暑 <small>あきあつ</small> し砂舞 <small>すなま</small> い上がる競技場	佐藤 航	幸せや新米を磨 <small>と</small> ぐ水弾み	佐藤 澄世
蟹 <small>かに</small> こそ秋の小川でかくれんぼ	佐藤 健		

短歌会

窓の辺に我が目覚めれば煌々と凍てつく夜の満月青し
暁の空に横たふオゾン座雲なき空に透き通り見ゆ
車窓より眺める今日の海青し遠くに船はかすみ見ゆる
今日友と紅葉を見むと来し山はわずかに早く彩りはなし

今村 貞子
菊川あさみ
下田 久子
森 敦子